

〔史料〕

ドイツ中世商人の日記の邦訳（7・完）

「ルーカス・レームの日記」（1494 1541年）

山本 健*

Translation of a Medieval German Merchant's Diary (7)

— *Tagebuch des LUKAS REM aus den Jahren, 1494–1541* —

Takeshi YAMAMOTO

邦訳 ルーカス・レームの日記（1494 1541年）

アウクスブルク市の商業史への寄稿（1861年）、B・グライフ編

— 日記の目次（1～110ページ） —

編者の序言	S. ~ XX
第1章 私の両親の出生と結婚式そして〔それ以外の〕若干の情報 〔ルーカス・レーム3世の家系図の紹介〕	1 ~ 4ページ
以上、第10号（2002年11月）掲載	
第2章 私の誕生、人生そして頻繁な長期にわたる旅行（商旅）	

*やまもと・たけし：敬愛大学国際学部助教授 ドイツ中世史

Associate Professor of German Medieval History, Faculty of International Studies,
Keiai University.

第1節 ルーカス・レームの誕生と子供時代：1481 ~ 1494年

第2節 ルーカスの青春期（商業見習いの時代）：1494 ~ 1499年

第3節 ヴェルザー商会の社員時代：1499 ~ 1517年

(A) リヨン支店時期 1499 ~ 1503年

(B) ポルトガル滞在期間 1503 ~ 1508年

(C) 再契約後の煩多な1年間 1509年

以上、第12号（2003年11月）掲載

(D) アウクスブルク本店への帰路の旅 1510年

(E) アントウェルペン支店時期 1511 ~ 1517年

(F) 退職をめぐるヴェルザー商会との揉め事 1517 ~ 1518年

第4節 ルーカス・レーム商会の最高経営者時代：1518 ~ 1541年

(A) ルーカスとアンナ・エカインとの結婚 1518年

(B) 新会社レーム商会の設立と営業活動 1518 ~ 1540年

第5節 ルーカスの晩年期（大病と湯治療養）：1521 ~ 1540年

(A) 1521年〔40歳〕の大病とカルプでの湯治療養

(B) 1524 ~ 25年〔43 ~ 44歳〕の大病

(C) 1529 ~ 30年〔48歳〕の大病

(D) 1535年〔54歳〕の大病

(E) 1540年〔58歳〕の大病

以上、第13号（2004年6月）掲載

第3章 財産覚書き

30 ~ 42 ページ

第1節 母親からの譲渡財産総額

第2節 ヴェルザー商会時代の決算書から見た収益率

(A) リヨン支店時代 1498 ~ 1511年

(B) アントウェルペン支店時代 1511 ~ 1517年

第3節 ルーカス・レーム商会時代

(A) 新ルーカス・レーム商会の設立経緯

(B) レーム商会に対するルーカス・レーム個人の投資額と利益率、

そして資産額の増加

以上、第14号(2004年12月)掲載

第4章 私の婚約と結婚、支出、贈与物 43～51ページ

第1節 婚約と結婚の1518年

第2節 結婚衣装費用

(A)新郎の結婚衣装費用

(B)新婦の装身具と結婚衣装費用

第3節 結婚式での引き出物とその送り先

(A)新郎側からの引き出物とその送り先

(B)新婦側からの引き出物とその送り先

第4節 結婚式および披露宴での飲食費と領主からの高価な祝儀(鹿)

(A)飲食費

(B)私への高価な祝儀(鹿)とその贈り主

第5節 結婚式に関する見積もり諸経費

第6節 私が受け取った結婚財産と妻の相続財産

(A)M・エカインから供与された財産額

(B)エカイン家の財産分割と妻の取り分

第7節 祝儀覚書き

第5章 親族たちの結婚式などで贈った祝儀とその贈り先

52～55ページ

以上、第15号(2005年7月)掲載

第6章 若干の終身年金、不動産、相続財産そして購入財産

56～63ページ

第1節 終身年金(ライブゲディング)

(A)フォン・ディンハイム夫婦への終身年金支払い義務

(B)その他の終身年金支払い義務

第2節 ギルク・レームの息子の土地財産をめぐる相続問題

第3節 私が相続ないし購入した3農場の経済状態

第4節 キッシンゲン村での土地取得過程と同農場の経済状態

(A)キッシンゲン村での土地取得過程

(B)キッシンゲン村の農場の経済状態

第5節 その他の購入財産について

第7章 私の5人の私生児、その一部 64 ~ 65 ページ

第8章 私の嫡出子の誕生 66 ~ 70 ページ

以上、第16号(2005年12月)掲載

第9章 ルーカス・レーム商会の社員とその契約雇用期間

71 ~ 72 ページ

第10章 納税 73 ~ 76 ページ

注記 77 ~ 110 ページ

索引

以上、本号

(注記) 訳文の〔 〕内の日本語は、理解を容易にするために訳者が補充したものであり、()内は原語である。

各章内の小見出し(節)も、同様な趣旨から訳者が書き加えたものである。

(注)は重要な内容のもののみを原注から選び、通し番号を付けた。また、原文にはないが、必要と思われる関連文献も(注)に記載した。

原文の巻末(77~110ページ)に一括して付されていた注記は、本邦訳では、各章ごとの末尾に記した。

原文にはない索引(人名、事項そして地名・国名)を、本邦訳の第10章の末尾に独立した形式で新たに作成・付記し、掲載分冊番号とページ数を記した。

第9章 ルーカス・レーム商会の社員とその契約雇用期間

[S.71]

† イェス・マリア †

社員名 (diener)

雇用契約⁽¹⁾ 期間

1. マルティン・フランツ⁽²⁾ 1518年9月1日から10年間

(Martin Frantz)

2. クリストフ・エカイン⁽³⁾ 1519年5月1日から9年間

(Cristoff Echain)

3. ジョルク・ヘルヴァルト
(Jerg Herwart) 1519年3月8日に、期間を定めず雇用
4. ジェロニムス・シュルツ
(Jeronymus Schultz) 1519年10月1日から4年間と2年間
4年契約と2年契約に区切られている。
5. ラークス・ハンス・レーム
(Laux Hans Rem) 1519年9月22日から8年間
6. ヤーコブ・オットー
(Jacob Otto) 1519年10月24日から8年間
7. ウルリヒ・エッキンガー
(Ulrich Echinger) 1520年2月22日から3年間
ただし、彼はリスボンに行っていたので、〔実際には〕4月1日から雇用された。
8. ジョルク・エカイン⁽⁴⁾
(Jerg Ochain) 彼は1520年以降、同商会に在籍し、アントウェルペン、ニュルンベルク、ヴェネツィア、アドラー(Adler)そしてアウクスブルクで働いた。私たちは彼と雇用契約を取り交わしているわけではなく、それゆえ彼は義務を負わない。私たちは彼を親族関係(Fraintschaft)の故に雇った。
9. ハンス・パウル
(Hans Paur) 1520年1月1日から12年間
彼はニュルンベルク出身である。
10. ヤーコブ・クラフト
(Jacob Kraft) 1523年3月1日から10年間
彼はウルム出身である。
11. アントーン・ホノルト2世⁽⁵⁾ 1524年1月1日から9年間

(Anton Hanolt jung)

12. マルクス・ハルトマン 1524年9月1日から12年間
(Marx Hartmann) 彼はウルム出身である。
13. バスティアン・ポルナー 1526年2月1日から12年間
(Bastian Polner) 彼はランツフト (Landshut) 出身である。
14. ハンス・シュテックリン 1528年1月1日から12年間
(Hans Stecklin) 彼はウルム出身である。
15. メルヒアー・シュヴァルツ 1528年5月1日から10年間
(Mercher Schwartz) 彼は当地 (アウクスブルク) 出身である。
16. ハンス・エッキングー 1530年1月1日から10年間
(Hans Echinger) 彼は当地 (アウクスブルク) 出身である。

[S.72]

17. マテウス・ハウク 1531年4月1日から11年間
(Mattheus Haug) 彼は当地 (アウクスブルク) 出身である。
1. マルティン・フランツ 2度目の契約
1528年9月1日から6年間
18. アントーン・フンク 1532年8月1日から12年間
(Anton Funck)
19. アントーン・フォン・ボンベルガ 1528年7月1日から3年間と
(Anton von Bomberga) 1533年1月1日から4年間
彼は2度の雇用契約を締結
1. マルティン・フランツ 3度目の契約
1533年1月1日から1年間
1年間と短いのは、子供が死亡したため。

- | | |
|---|---|
| 20. ペーター・ゼードルモール
(Peter Sedlmor) | 1533年7月1日から12年間
彼は当地(アウクスブルク)出身である。 |
| 21. レーンハルト・ホフマン
(Lenhart Hofmann) | 1534年1月1日から5年間 ⁽⁶⁾
彼はニュルンベルク出身である。 |
| 22. ベルンハルト・マイヘル
(Bernhard Meichel) | 1534年2月1日から10年間
彼はアントウェルペン出身である。 |
| ジークムント・レーム
(Sigmund Rem) | 1533年11月7日に雇用契約を結ばずに参加(on verschreibung)
彼は当地(アウクスブルク)出身である。 |
| 23. ヴァレンティン・メルス
(Valentin Mörz) | 1536年1月1日から12年間
彼は当地(アウクスブルク)出身である。 |
| 13. パスティアン・ポルナー | 2度目の契約
1536年1月1日から7年間 |
| 24. ジョルク・リープナウアー
(Jerg Liebnauer) | 1537年3月1日から12年間
彼はブラウナウ(Braunau)出身である。 |
| 25. ハンス・ハルトリーブ
(Hans Hartlieb) | 1540年1月1日から9年間
彼はメミンゲン(Memmingen)出身である。 |

[編者グライフの] コメント

これまでルーカス・レーム商会の社員たちについて述べてきたが、更に、25番目の社員を私は承知している。その社員はメミンゲン出身のハンス・ハルトリーブである。彼は1540年の1月1日に、9年間の雇用契約で同商会

に雇用された人物である。彼はほとんどアントウェルペン（Antorf）に駐在していた。このアントウェルペンには、アントーン・ボンベルガ（上記の社員19.）とバスティアン・ボルナー（上記の社員13.）がレームの代理商として働いていた。

このハンス・ハルトリーブの日記 この日記はハルトリーブ博士（Dr. v. Hartlieb in Memmingen）が所有 によると、彼はレーム商会のために、主に貴金属の取り引きに係わっていた。

1543年に彼はヴェネツィアに赴き、ジョルク・ウッティンガー（Jorg Uttinger）から商業帳簿と現金（Bucher u. Cassa）を引き継いだ。彼は〔ヴェネツィアのリアルト橋のたもとにある〕ドイツ人商館（fondaco dei tedeschi）内の彼の主人〔ルーカス・レーム〕の部屋に滞在していた。

1544年、彼はルーカス・レームの長女マグダレーナと結婚した（1544年12月16日）⁽⁷⁾。彼は、その際、花嫁に莫大な贈り物をしている。これらの贈り物について、彼は『日記』に詳細に書き留めていた。その金額は991グルデン（fl.）54クロイツァー（kr.）である。

（注）

- (1) 社員の雇用契約に関する「雇用契約帳簿（Vertrag-gesellschaft buoch）」の指摘（第3章「本誌」第14号、2004年、116ページ）から、この帳簿が存在していたことは類推できるが、「雇用契約帳簿」の詳細な内容は不明である。「日記」の第9章には、本文のように簡略に記録されているだけである。
- (2) 彼については、第4章の注（21）「本誌」第15号（2005年）、225ページを参照のこと。
- (3) 彼はルーカス・レーム4世の妻方の義兄弟である（第1章「本誌」第10号、2002年、154ページを参照）。
- (4) 彼もルーカス・レーム4世の妻方の義兄弟である（第1章「本誌」第10号、2002年、154ページを参照）。
- (5) ホノルト家については、第4章の注（25）「本誌」第15号、2005年、225ページを参照のこと。
- (6) レーンハルト・ホフマンの雇用された年月日は、第2章「本誌」第13号（2004年）、129ページの叙述（1533年5月22日）と異なる。
- (7) 彼とマグダレーナの結婚については、第8章「本誌」第16号（2005年）、110ページを参照のこと。

第10章 納 税

[S.73]

イエス アウクスブルク市にて

以下では、私がどのように、さらにどのくらい自分の財産 (Hab u. Gut) を誓約〔して、自己申告による〕租税 (geschworen Steuer) 以下、誓約租税と略記 額でもって算出、評価、そして納税したかを、さらに誠実に、底意なく精査したのかをすべて記す。

〔A〕独立以前の納税

1516 ~ 18年〔35 ~ 37歳〕 納税額：各年、37.5グルデン (fl.)

1516年に誓約租税〔義務〕が生じた。それは、私がアントーン・ヴェルザー商会 (Anton Welsler u. Gesellschaft) に私の財産7,500グルデンを投資したからであった。その税額は37.5グルデンである⁽¹⁾。この金額を私は1516、17、18年の3年間、毎年納税した。また18年〔5月30日〕に私は〔アンナ・エカインを〕妻に迎えた。

〔B〕独立以後の納税

ルーカス3世は、1518年9月1日にルーカス・レーム商会を設立し、独立した。その際の中心人物は、ルーカス・レーム本人と彼の2人の兄弟アンドレアス (兄・長男) とハンス (弟・三男)、そして経営顧問〔兼資金提供者〕たるウルリヒ・ホノルト (Ulrich Hanolt) とジヨルク・マイティングの5人であった⁽²⁾。

1519 ~ 21年〔38 ~ 40歳〕 納税額：各年、56.5グルデン

私の妻〔の納税額〕に関して、〔さしあたり、彼女の〕伯父のマルクス・エカインが19グルデンを納税した。私は、その代納金〔19グルデン〕と次の3年間、すなわち1519、20、21年の私の納税額として〔毎年〕56.5グルデンを納税した。〔納税額を〕算出するというほどのことでもなかった⁽³⁾。

1522 ~ 26年〔41 ~ 45歳〕 納税額：各年、58グルデン

1522年に誓約租税〔義務〕が生じた。それは、私が私の2人の兄弟たち、そしてウルリヒ・ホノルトと昨年〔1521年〕の年末に総決算を行ったためであった。その決算で明らかになった事は、負債金〔貸付金〕が

埋め合わ〔返却〕された場合には、私には全体で1万3,500グルデンを手にする権利があり、またその金額も至当である、ということであった。この収入に対して、私が〔本来〕納税すべき金額は、それを算出すると、67.5グルデンになる。

しかし、この頃、我がレーム商会は、3年前に皇帝陛下〔カール5世に選挙費用⁽⁴⁾として貸付、そ〕の取立てに失敗した（verfallen）貸付金をめぐって、ヤーコプ・フッガー〔フッガー商会〕⁽⁵⁾と相殺した。我が商会の〔不良債権〕額は1万8,310グルデンである。また私個人の〔不良債権〕
[S.74]

額は底意なく5,500グルデン〔ルーカス商会の30%強〕だけであり、それ以外の金額は一切ない。

スペインでは〔貸付金は個々の債権者に〕返済されているとのこと。しかし、スペイン〔特に、カスティーリャ地方の諸都市〕では〔1520～21年に、都市の自治を抑圧する〕皇帝陛下〔カール5世〕に対する民衆〔平民（Gemein）〕の大きな暴動〔コムネーロスの乱（das gros uff-glaf）〕⁽⁶⁾が発生していたので、我が商会はこれ以上、〔皇帝からの追加融資の要請に〕応じなかった。〔そのためか〕皇帝側は我が商会に2年半もの間、一銭も返済しなかった。そのため〔不良債権化した貸付金の〕総額は、〔利子が付いたせいもあってか〕さらに〔破産を連想させる〕危険な巨額（gross-er gefar）に達した〔程であった〕。

1524年になってようやく我が商会も〔貸付金の返済が〕保証され、そして1526年から29年にかけて〔実際に〕返済された。〔しかし、これと引き換えに〕私は私個人の貸付金額〔すなわち、5,500グルデン〕のほぼ半分ないしそれ以下の金額を、さらに追加融資する羽目になった。しかし、私〔個人として〕は皇帝との〔これ以上の〕深い〔金銭的な〕係わりを避けるために、上記の皇帝〔カール5世〕へ〔追加融資した〕私の貸付金額を〔以下のような〕誓約租税額にまで減額した。このため、私は世間〔王室などの上流社会〕（die Welt）〔との付き合い〕を差し止められて〔失って〕しまった。

減額された税額は、9.5 グルデンである。残りの税額は 58 [= 67.5 - 9.5] グルデンである。〔この額は〕上記のごとく、大きな不安や冒険〔危険〕を伴う〔皇帝への追加融資金〕を除いた金額である。

私はこの 58 グルデンの金額を、1522 年から 26 年までの 5 年間⁽⁷⁾納税した。すなわち、誓約租税の義務が生じた時、私の納税対象となる財産と危殆に瀕する〔皇帝への貸付金の〕総額 (bedrohter Suma) は、1 万 1,600 グルデンを超えない程であった。その後は長きにわたり、何と恵まれたことであろうか。それはおそらくは神の恩寵のおかげであろう。有り難きかな。

1528 年〔47 歳〕

当地アウクスブルク市でさらに誓約租税〔義務〕が生じた。それは、1528 年の 8 月 31 日に、私が兄のアンドレアス、および兄の許に派遣された私の重要な仕事仲間 (Gesellen) ウルリヒ・ホノルトと総決算 (Hauptrechnung) を行ったからであった。その決算で明らかになった事は、私には配当金の取り分として 1 万 7,500 グルデンを手にする権利があるということである。

この頃、私たち〔私と兄〕は我が商会を去っていった〔退職した〕ウルリヒ・ホノルト⁽⁸⁾を高くは評価できず、さらに正直者というよりも狡猾い人物のように思うようにさえなっていた。私はこれらすべてを耐え忍んだ。私たちは彼との関係を円満に解消すべく、またあらゆる事柄を何度も考慮して、〔彼と〕多くの点で見解を異にし〔紛糾〕した、悪質かつ不安感を抱かせる取り引きをもほとんど引き受けた。

ポルトガルとスペインで〔ホノルトが〕上記の皇帝〔カール 5 世〕へ〔貸し付けた金額〕の残額は全部で 1 万 7,500 グルデンに達した。我が商会はこの残額を〔ホノルト自身の〕判断を誤った〔貸し付けで生じた〕法外かつつじつまの合わない金銭と見なし、うまく処理〔回収〕できなかった。しかしながら、最終的に回収不可能と見なしていたこの疑わしい金額 1 万 7,500 グルデンをめぐって、私は彼〔ホノルト〕個人の負担分としての 1 万 2,500 グルデンの分割払い込み金 (Rata) を肩代わりするこ

とに同意した。さらにアントウェルペン、ニュルンベルク、ウルム、フランクフルト〔・アム・マイン〕、アードラー、スペイン、ポルトガルで
ただし、アウクスブルクを除く〔彼が作った負債（不良債権）の〕すべてを我が商会の負債 その総額は巨額である として、
私は〔失敗したらという〕不安な思いと〔何はともあれ行動をとるという〕
大胆な思いを交錯させながら、彼から引き受けた。私はこの大きな心配
〔不安〕と途轍もない大胆な〔負債の肩代わりという〕行為に対するあらゆる責任から我が身を守る〔ために、〕保険金として1,000グルデン強の大金すら、心から喜んで払い込みたいと思った〔程である〕。

[S.75]

しかし、私は〔上記のホノルトとの〕約束を遵守し、さらにその後も同様に遵守し続け、そして永遠に〔他人から〕中傷や非難を受けないために、私の配当金の取り分に関しては、あの大胆な〔肩代わり〕行為に対する〔保険金としての〕1,500グルデンを除けば、一切控除せず〔課税対象金額とした〕。

この件をめぐって、私は1532年8月20日にようやく、〔自己の良心に従い〕厳格に納税義務を果たした。納税額については、私はほとんど控除を求めなかった。私は残りの金額1万6,000〔= 17,500 - 1,500〕グルデンを〔課税対象金額として〕納税することにした。

ただし、私は、以下の〔我が商社への個人投資〕金額に対して支払い義務を負っている。

主婦バーバラ・フォン・ディンハイム・・・ 600グルデン (fl.)

彼女の夫・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 500 fl.

ルーカス・ハンス・レーム・フォン・ウルム 300 fl.

総額は1,400グルデンである。

〔それ故に、これらの金額を控除して〕私の課税対象金額として残った額は、1万4,600〔= 16,000 - 1,400〕グルデンである。

1528 ~ 33年〔47 ~ 52歳〕 納税額：各年、78グルデン

この金額〔1万4,600グルデン〕に対して、私は6年間（1528 - 33年）毎

年、納税した。〔まず〕とくに、私の現金〔動産〕に関しては、73グルデンである。

さらに、私の4カ所の農場、十分の一税、小屋地（Sölden）菜園〔などの不動産〕からの収益2,000グルデンに対する納税額は、〔不動産〕税率が0.25%（1/4 Pro C.）であるので、5グルデンである。

したがって、この6年間の納税額の各年毎の総額は、グルデン金貨で78グルデンである。

私の現金〔動産〕収入〔税率は0.5%（1/2 Pro C.）〕から 73 fl.

私の不動産収入〔税率は0.25%（1/4 Pro C.）〕から 5 fl.

各年、グルデン金貨で 78 fl.

1534 ~ 39年〔53 ~ 58歳〕 納税額：各年、140グルデン

当地アウクスブルク市で暫約租税〔義務〕が生じた。それは、1534年の7月31日に、私が兄アンドレアスの立会いの許、厳格に総決算を行ったからであった。その決算で明らかになった事は、債務者たちの巨額借財金が十分に返却された場合、私には〔配当金の〕取り分として2万8,000グルデンを手にする権利があるということであった。

この件に関して、我が商会はおおよその見積もりを立て、そしてフッガー商会とヴェルザー商会が皇帝と1530年の2月に締結したスペインでの大規模な取引引きに、僅かながら参加して得た利益〔6万グルデン〕⁹⁾を計上した。しかし、おそらく、その数字は不確定であった。そしてこの件で、皇帝陛下は依然として我が商会に私たちの〔債権〕持ち分として3万1,000グルデン〔= 17,500（貸付残高）+ 12,500（ウルリヒ・ホルトへの肩代わり金）+ 1,000（保険金）〕への〔支払い〕義務を負っていた〔この金額への私の取り分は5,008グルデンである〕。

したがって、もし全額が支払われた場合には、私は総額で3万3,008〔= 28,000（私の配当金額）+ 5,008〕グルデンの金額を手にするようになる。そのうち、〔動産〕税率は0.5%（1/2 Pro C.）なので、納税額はグルデン金貨で165グルデンである。

我が商会はいかなる債務額も損失金〔使途不明金〕（verloren）とはして

いないものの、それでもなお多くの負債額を控除した。たとえば上記の
締めた決算書の中では、ヴェネツィアには約1万5,022 ドゥカーテン
(Dukaten) に及び負債額があり、さらにニュルンベルクには1万7,707 グ
ルデンの負債額が、さらにはアントウェルペンには7,766 フランドル・ポ
ンド (L. = Flamisch Pfund) に及び種々の負債額が そのうちブラーバ
ント宮廷には3,420 ポンド 、さらにはポルトガル国王ジョアン3世
[S.76]

(King Johann von Portugal) には5,866 ポンドの負債額があった。これは全
体でおおよそ10万グルデン〔という巨額〕に達する程である。ただし、
この金額には、上記の皇帝カール5世への貸付金3万1,000グルデンは含
まれていない。危険で、不安なそして大胆な〔肩代わり〕行為が如何な
るものであれ、これに対する〔保険金として〕私は原資 (Hauptgut) から
3,600グルデンを控除した。

また私は、以下の金額に対して支払い義務があった。〔すなわち〕主婦
バーバラ・フォン・ディンハイムとその夫、そしてルーカス・ハンス・
レーム・フォン・ウルム (Lucas Hans Remen von Ulm) たちの〔投資金〕。
総額で2,400グルデン⁽¹⁰⁾である。

つまり、私はこの2項目〔保険金と個人投資金〕の金額〔3,600 +
2,400 = 6,000〕を、〔私の課税対象収入金額〕から控除する。〔動産〕税
率は0.5% (1/2 Pro C.) なので、控除額はグルデン金貨で30〔= 6,000 ×
0.005〕グルデンである。

私の現金収入に関する納税額について、私の最高の知能と良心に従い、
入念に思案し、そして誠実にかつ底意なく見積もった納税額は、〔165 -
30なので〕グルデン金貨で135グルデンである。

さらに、私の4カ所の農場、十分の一税、小屋地、菜園などからの全
収益2,000グルデンに対して、〔不動産〕税率は0.25% (1/4 Pro C.) であ
るので、5グルデンである。

したがって、この6年間 (1534 - 39年) に支払った、また支払うべき納
税額の合計は、現金収入〔税率は0.5% (1/2 Pro C.): 135 fl.〕と不動産

収入〔税率は0.25% (1/4 Pro C.): 5 fl.〕から、上記したように、各年毎にグルデン金貨で140グルデンである。

〔注意書き〕[Notta] :

上記した13万1,000〔= 100,000 + 31,000〕グルデンの負債額のうち、私に関係する金額はその4分の3 (= 98,250 fl.) である。取り引きでの私の取り分はそれと同程度か、それ以上である。〔すなわち〕この負債額の私の取り分はおおよそ3.5% (3 1/2 Pro C.) 〔 = 4,585グルデン 〕である。

私はこの金額を納税対象から除外した⁽¹¹⁾。

(注)

- (1) アウクスブルク市では、1498年以降、現金収入(動産)の税率は0.5%である。したがって、この場合の納税額は $7,500 \times 0.5\% = 37.5$ グルデンである。税率については、第10章中の本文に明記されている。なお、諸田実『フッガー家の遺産』(有斐閣、1989年、18ページ)をも参照のこと。
- (2) ルーカス・レーム商会の設立メンバーについては、第3章第3節「本誌」第4号(2004年) 115-116ページを参照のこと。
- (3) 妻の納税額が19グルデンなので、妻の納税対象収入額は3,800グルデン、またルーカス自身の納税が56.5グルデンなので、彼の納税対象収入額は1万1,300グルデンである。
- (4) スペイン国王カルロス1世は、1519年の皇帝選挙で、対立候補フランス国王フランソワ1世に勝利するために莫大な買収資金を必要とした。その資金総額は85万2,000グルデンであった。フッガー家は約54万グルデンを、ヴェルザー家は約13万グルデンを引き受けていた。諸田実『フッガー家の遺産』(有斐閣、1989年、70-71ページ) 同『フッガー家の時代』(有斐閣、1998年、49ページ)を参照のこと。
- (5) スペイン国王カルロス1世から、2年後(1521年)に、54万グルデンのうちの20万グルデンを返済する旨の約束を得ていたが、当時のフッガー家にも返済は履行されず、当主のヤーコプでさえ業を煮やしていた。諸田実『フッガー家の時代』(有斐閣、1998年、49ページ)を参照。
- (6) コムネーロスの乱については、立石博高他編『スペインの歴史』(昭和堂、1998年、107ページ)を参照。
- (7) 本文では6年と記されているが、明らかにルーカスの誤記であり、5年である。
- (8) ウルリヒ・ホルトがレーム商会を退職したのは、1527年である(第3章「本誌」第14号、2004年、123ページを参照)。
- (9) このスペインでの取り引きに関するルーカス・レーム商会の取り分は、フッガー商会の取り分の10分の1である〔原注305〕。この件については、第2章「本誌」第13号(2004年) 129ページおよび145ページの注〔141〕を、また第3章「本誌」第14号(2004年) 129ページを参照。
- (10) この3人の投資額は、1522-26年の3年間では1,400グルデン(本章114ページ)であったが、1534-39年には2,400グルデンと表示されている。増額された1,000グルデンの詳細は不明。
- (11) 同日記の原本(Das Original)は、近年ようやくアウクスブルク市立図書館が所有するに至ったが、それ以前は銀行家のフリードリヒ・フォン・ハルダー(Friedrich von Halder)

氏の私的文庫の中にあった。彼はこの重要で貴重な文庫を1846年にアウクスブルク市に寄贈した。

この所蔵本は市立図書館で分類されて書架に配置され、そして「フォン・ハルダー文庫」と命名されている。市立図書館では、この原本には「Num. 677 in 4^o」の番号が付いている。

私は「農民戦争についてのハンス・ルッツ（Hans Lutz）の日記」に関する私の緒言の中で、この文庫について多くのことを報告した。それはシュワーベン・ノイブルク歴史協会の年報第13・14合併号（1847 / 48年）の54・55ページに掲載されている。

この文庫の創設者たるゲオルク・ヴァルター・フォン・ハルダー（Georg Walther von Halder）氏がこの原本をどのようにして、さらに誰から取得したのかは、私には証明できなかった。私が知っていることは、ルーカス・レームの死後も長い間、彼の子孫たちが〔彼の日記を〕レーム家の名誉ある書物として所持していたこと、同日記の執筆者の義理の息子たるハンス・フォン・ハルトリーブ（Hans von Hartlieb）が自分の日記を綴る時に、このルーカス・レームの日記を手本としていたこと、さらに彼は手本の義父の日記から個々の章句をそっくり自分の日記に採用していたこと、などである。

このハンス・フォン・ハルトリーブは1519年11月10日生まれであるが、彼の父親はもともと彼が商人にではなく、むしろ学者になることを希望していた。1533・35年にかけて、彼はイタリアのパドヴァ（Padua）で、ヴォルフガング・ベリンガー・フォン・ヴィンプフェン博士（Dr. Wolfgang Beringer von Wimpfen）の指導の下で勉学に励んだ。彼の父親はさらに同年、彼をハンス・プファツェルト（Hans Pfanzelt）と共に、低地地方のブルッヘ（Burgess）へ遣わした。そこで彼はフランス人のカルロ・ヘラルド（Carolo Gerardo）を彼の教師（Praeceptor）とした。この教師の許には、彼の他に、さらに2人のアウクスブルク市出身者ダヴィット・パウムガルトナー（David Baumgartner）とゼーバルト・レーリンガー（Sebald Rehlinger）も師事していた。1536年に、彼ハンスはアントウェルペンに赴いた。ここで彼は父親からエラスムス・シェツ（Erasmus Schetz）とアーノルド・ブラウン（Arnold Praun）への推薦を受けていた。そして彼はさらなる勉学のために、このアントウェルペンからルーヴァン（Lowen）へ移った。1537年に彼は再度パドヴァへ赴き、ここに1539年まで留まった。彼は、自ら確認しているように、勉学に1,512グルデン14シリング11デナリウスを費やした。

この1539年に、彼はルーカス・レームの許を訪れ、そして1540年1月1日から9年間〔ルーカス・レーム商会に〕参加した。しかし彼はまずヨーハン・ノイドルファー（Johann Neudorfer）の許で簿記を学ぶために、ニュルンベルクに赴く。

レームは彼をさしあたり宝石の取り引きに従事させた。彼はその販売のためにフランス王室やイギリス王室を相手にした。1543年に初めて彼はヴェネツィアのドイツ人商館でのレーム未亡人の営業を取り仕切った。彼は1544年〔12月16日〕にレームの長女マグダレーナと結婚した〔新郎：25歳、新婦：17歳〕。

彼は1560年に死亡したように思われる。なぜなら、この年で彼の日記は終わっているからである。1560年に彼はアンドレアス・ヴェルザー（Endres Welsler）、セバスチャン・ヒーターテラー（Sebastian Fietterer）そしてその他の者たちと共に、一般に「グロース・バルティダ（gross Partida）」と呼ばれている負債をフランス国王に思い出させようと、フランス宮廷に赴いた。しかし、彼らの努力は徒勞に終わった。〔原注306〕（「ハンス・フォン・ハルトリーブの日記」の抜粋）

このハンス・フォン・ハルトリーブについては、第9章の編者のコメント（「本誌」本号、109・110ページ）を参照のこと。

索引

- * 索引中の ~ は、本訳の本誌掲載分冊番号 - 第10号(1) - 第12号(2) - 第13号(3) - 第14号(4) - 第15号(5) - 第16号(6) - 本号(7・完) を、後ろの数字はページ数を表す。
- * 各索引とも50音順。

人名索引

- * 索引項目は、家族名で引けるようにし、家族ごとにまとめた。また頻出するレーム家の商会はR商会、ヴェルザー家の商会はW商会とした。また、出身都市名のうち、アウクスブルク市はA市、ウルム市はU市と略記した。

ア行

- アウグスト (August) [A市在住の医師] 130
- アドラー (Adler)**
- アンナ (Anna) 230
 - フィリップ (Filipp) 220
 - ベアベル (Bärbel) 231
 - ベニグナ (Benigna) 231
- アドルフ (Adolf) [A市在住の医師] 130
- アルゲン (von Argen)**
- ウルズラ (Ursel) [バルベル・フォン・ディンハイムの妹] 209
 - ジョルク (Jerg) 220
- アンドルファー (Endorfer)** [妻方の親族、商人]
- アンナ (Anna) 202、203、217
 - シュテファン (Steffan) 203、210、220
 - ジョルク (Jerg) 229
 - ハンス (Hans) 203
- アンブロシウス2世 (Ambrosius Jung) [A市在住の医師] 122、130
- イムホーフ (Imhoff)** [A市商人]
- アグネス (Agnes) [アンドレアスの妻] 120
 - アンドレアス (Endris) [ケルン在住] 120
 - カタリーナ (Catarina) [ケルン在住] 230
 - ガブリエール (Gabriel) 229
 - コンラート (Konrat) [アントウエルペン在住のW商会の社員]
156、106
 - ジョルク (Jerg) 229

レオンハルト (Leonhart)	228
ヴァイス (Weiss)[A市商人]	
ウルリヒ (Ulrich)	203、220
ベアベル (Bärbel)[市長J.フェッターの娘]	228
ヴィーダマン、ハンス (Wiedemann, Hans)	108
ヴェルザー (Welser)[母方の親族、A市商人]	
アントーン (Anton)[伯父](1463 - 1518)	140、142、153、156、 114、220、108、111
アントーン2世 (Anton der Jung)	103、111 - 114、221
ヴェロニカ (Veronika)	231
ウルリヒ (Ulrich)	231
エレナ (Elena)	232
クリストフ (Cristoph)[従兄弟](1480 - 1536)	140
シビλλα (Sibilla)[アントーンの娘、ルーカス4世の妻]	108
バルトロメ (Bartolome)[A市参事会員]	156、112、115、 222、87
フランツ (Frantz)	230
マグダレーナ (Magdalena)[母親](1463 - 1541)	153、122、 127、132、111、221
ヤーコブ (Jacob)[叔父](1486 - 1541)	111、113、116、222
ヴェルザー・フォン・ニュルンベルク、ハンス (Welser von Nürnberg, Hans)	231
(ヘル・) ヴォルフ、ランゲン (Herr Wolf, Langen)	112
ウッティンガー、ジョルク (Uttinger, Jerg)[R商会のヴェネツィア在住社員]	102、108、110
ヴェルテンベルク大公 (Herzog von Württemberg)	117
エアファント (Erfands)[義兄弟]	128
エーインガー (Ehinger)	
ウルリヒ (Ulrich)[U市在住の従兄弟]	101、116、118
ルーカス (Lukas)[U市商人]	109、125
エーインガー、ウルリヒ (Ulrich)[運送業者]	139
エカイン (Echain)[妻の出身家系、都市貴族]	
ジョルク (Jörg)[舅](1469 - 1507)	153、202、203
その子供	
アンナ (Anna)[ルーカス3世の妻]	154、122、123、 127 - 129、131 - 134、115、202、206、217、86、111、 118
クリストフ (Cristoff)[義兄弟]	154、210、212、217、221、 229、97
シュトツフェル (Stoffel)[義兄弟]	230

ジョルク (Jörg) [義兄弟]	154、 217、 221、 232
マテウス (Matheus)	203、 229
マルクス (Marx) [伯父]	202、 203、 216、 220、 111
マルクス2世 (Marx der Jung)	221
ルーカス (Lucas) [義兄弟]	140、 221
エッキングー (Echinger)	
ウルリヒ (Ulrich) [R商会の正式社員]	222、 107
ハンス (Hans) [R商会の正式社員]	112、 108
エッケン (Echen)	
シュトッフエル (Stoffel) [ケルン在住の義兄弟]	123
マルクス (Marx)	128
エッグンスベルガー、クリストフ (Egensberger, Christoff)	214
(イム・) エンゲル、ヤン (im Engel, Jan) [ケルン在住の医師]	120
エンゲルホーフ (Engelhoff)	
ヴァレンティン (Valentin) [ラテン語教師]	107
ハンス (Hans) [ラ・パルマ島の砂糖キビ農場監督官]	158、 159
(フォン・) オスト、レイ (von Ost, Rey) [洗礼立会人]	104
オットー、ヤーコプ (Otto, Jacob) [W商会の社員]	101
オプトル、バーベリン (Optlin, Berbelin) [母親マグダレーナの乳母]	211、 228
オーフン、トーマ (Ochn, Toma)	222
オベル、ヤーコプ (Obel, Jacob) [ケルン在住の医師]	120

カ 行

カール5世 (スペイン国王カルロス1世) (Karl V) [神聖ローマ皇帝 (在位 1519 - 56)]	108、 112、 115 - 116
カロルス (Carolus) [R商会の社員]	117
ギエンガー (Giennger)	
ジョルク (Jerg)	232
ゼーボルト (Sebold) [洗礼立会人]	113
ペトルス (Petrus) [洗礼立会人]	111
クーグラー、アンナ (Kuglerin, Anna)	230
グオトラット、ハンス (Guotratt, Hans)	222
クラフト、ヤーコプ (Kraft, Jacob) [R商会の正式社員]	107
グランダー、アンドレアス (Grander, Endris) [A市有力商人]	220
クリフト (Cristoff) [聖十字架教会院長代理]	106
グレスラー、ヘアベル (Gresler, Barbel) [妻の祖母]	203
グレーネベルク、ヤーコプ (Greneberg, Jacob) [洗礼立会人]	101
ゲール (Geir)	
ファイト (Veit) [借地農]	90

マテウス (Matheis) [借地農]	89
ケッツマン、ヨハーネス (Ketzman, Johannes)	107
ケラー、バルトロメ (Keller, Bartolme) [ラ・パルマ島の砂糖キビ農場関係者]	158
ゴッセムブロート、ジークムント (Gossembrot, Sigmund) [有力鉱山業者]	221

サ 行

ザイツ、シモン (Seitz, Simon) [サラゴサ在住の A 市商人]	145
サルメス、ベルナール (Salmes, Bernaart) [サラゴサ人]	146
ザングマイスター、ハンス (Zangmaister, Hans)	232
ジーター、メルヒヤ (Siüter, Melcher)	230
シェッツ、エラスムス (Schetz, Erasmus) [洗礼立会人]	104
シェーラー、ウルリヒ (Scherer, Ulrich) [借地農]	94、96
シェルベルク、ルーカス (Schelberg, Lucas)	108
シャルト、ハインリヒ (Schart, Heinrich) [ケルン在住の医師]	120
シュヴァルツ (Schwartz)	
アレクザンダー (Alexander) [避暑地別荘の売主]	97
メルヒアー (Mercher) [R 商会の正式社員]	108
シュタムラー、レオンハルト (Stamler, Leonhart) [A 市都市貴族]	321
シュテックリン、ハンス (Stecklin, Hans) [R 商会の社員、洗礼立会人]	112、108
シュテッドリン、ガブリエル (Stedlin, Gabriel) [W 商会の社員]	101
シュテーベハーバー (Stebhaber)	
ジョルク (Jörk)	230
ハンス (Hans) [W 商会のベネツィア支店長]	139
シュトッフエル、ゼーボルト (Stoffel, Sebolt)	131
シュニツァー、バスチアン (Schnitzer, Bastian) [別荘の隣人]	97
シュミット、ハンス (Schmid, Hans) [マデイラ島での W 商会の代理商]	159
シュミット、ハンス (Schmid, Hans) [クロイツ教区の牧師]	102、107、109、110
シュマッカー、コンラート (Schmucker, Conrat)	221
シュルツ、ジェロニムス (Schultz, Jeronymus) [R 商会の正式社員]	107
ジョルク (Jörk) [義兄弟、イタリア・トレヴィーゾ在住の商人]	102
ジョルク、アングネス (Jerg, Angnes) [U 市の代官]	106
ズルツァー、ゾイジリア (Sultzer, Seujlia)	229
ゼードルモール、ペーター (Sedlmor, Peter) [R 商会の正式社員]	109
ゼリグマン、ハンス (Seligmann, Hans) [借地農]	91

タ 行

- (デ・) タクシス、フランシスコ (de Taxis, Francisuco) [郵便局長] 104
(ア・) ダロンダ、オットー (a Dareunda, Otto) [船長] 157
ダンジェロ、グイード (D'Angelo, Guido) [イタリア語教師] 139
ツィーグラ、ウルズラ (Ziegler, Ursel) 229
ツィリアクス、ヴォルフ (Ziracus, Wolff) 230
ツォラー、ヤーコブ (Zoller, Jacob) 105
ツォルナー・フォン・ニュルンベルク、アントーン (Zolner von Nürnberg, Anton) 232
ディンハイム (von Dinheim) [妻方の親族]
 ヴァイガント (Weigand) [R 商会への投資家] 202、215、222、
 85、114、116
 ジャン (Jan) 212
 バーバラ (Barbara) [妻の乳母] 208、221、84、86、98、99、
 114、116
 ヨハン (Johan) 210
デクンハ、トリスタン (Decunha, Tristan) [マダガスカル島に強制寄港させた
船長] 148
デラナーヴ、ジェローム (Delanave, Jerome) [ヴェネツィアの下宿先の主人]
139
ドイプフル、ピエロ (Deuburg, Piero) [フランス語の教師] 141
トルーシュラー・フォン・エッティンガー、ハンセン (Truschler von Öttinger,
Hansen) [博士] 108
トルソー、ジョルク (Torso, Jerg) 219

ナ 行

- ニッティンガー・フォン・メミンゲン、ハンス (Nitingen von Memmingen,
Hans) 230
ネーゲリン、ベネディクト (Nögelin, Benedict) [ラテン語教師] 107

ハ 行

- ハイランド、ハンス (Hailand, Hans) [教師] 110
ハインツェル (Haintzel)
 アンナ (Anna) [義兄弟クリストフ・エカインの妻] 232、97
 ハンス (Hans) 112
 ペーター (Peter) 112
ハインツラー、ハンス (Haintzler, Hans) 222
ハウク、マテウス (Haug, Mattheus) [R 商会の正式社員] 108
ハウザー、ハンス (Hauser, Hans) 103
パウムガルトナー、ジャン・ガブリエル (Bongarten, Jan Gabriel) [A 市商人]

- パウル、ハンス (Paur, Hans) [R 商会の正式社員] 107
 バサドーヌス、バルトロメオ (Basadonus, Bartolomeo) [船主] 159
 ハック、ハンス (Hack, Hans) [A 市書記] 230
 バックリー・ド・メテリン、ジャン (Bucly de Metelin, Jan) [修道士]
 146
 バッハマイル、ハンス (Bachmair, Hans) [家事奉公人] 211
 ハルトマン、マルクス (Hartmann, Marx) [R 商会の正式社員] 108
 ハルトリーブ、ハンス (Hartlieb, Hans) [R 商会の正式社員、ルーカス 3 世の長
 女の夫] 110、 109 - 110、 118
 ハンス (Hans) [レーム家の家事奉公人] 211
 フィシャー、エルスベト (Fischer, Elsbet) 229
 フィリップ美公 (King Philipp) [皇帝マクシミリアン 1 世の息子、ブルゴーニュ公
 (1483 - 1506)、オーストリア大公 (1496 - 1506)] 145
 フェークリン、ハンス (Vöchlin, Hans) 229
 フェッター (Vetter)
 ヴィルヘルム (Wilhelm) 229
 ヴォルフ (Wolf) 101
 ジョルク (Jörg) [A 市市長] 202、 219、 228
フェーリン (Vöhlin) [メミンゲン出身の商人、フェーリン商会]
 コンラート (Conrat) 105
 ハンス (Hans) [W 商会のリヨン支店代表] 102、 106、 112
 フェルナンデス、ガルシア (Fernandez, G.) [カスティーリア辺境伯]
 102
 フェルナンド 5 世 (Fernando V) [スペイン国王 (在位 1479 - 1516)]
 102
 (ドン・) フェルナンド (Don Fernando) 王子 [皇帝フェルディナンド 1 世 (在位
 1531 - 1564)] 102
 フォルクマイル・フォン・ニュルンベルク、ジョルク (Folkumayr von
 Nürnberg, Jerg) 220
フッガー (Fugger) [A 市商人]
 アントーン (Anton) (1493 - 1560) 129
 ヤーコブ (Jacob) (1459 - 1525) 118、 214、 219、 112
 プフィスター、ヴォルフ (Pfister, Wolff) 220
 プフィスター、ハンス (Pfister, Hans) [郵便配達業者] 139
 フムピス、ハンス・ヤーコブ (Hümpis, Hans Jacob) 231
 ブラウンシュヴァイク大公 (Herzog von Braunschweig) 107
 プラットナー、ハンス (Platner, Hans) [聖アンナ修道院の聖遺物保管係]
 111
 フランツ、ケーニヒ (Franz, König) 85

フランツ、マルティン (Frantz, Martin)[R 商会の正式社員]	129、
211、212、 111、 106、108	
フンク、アントーン (Funck, Anton)[R 商会の正式社員]	108
ヘアヴァルト (Herwart)[A 市都市貴族]	
アフラ (Afra)	229
アンナ (Anna)	230
クリストフ (Cristoff)	220
ジョルク (Jerg)[R 商会の正式社員]	107
マドレン (Madlen)	230
ベッセラー (Besserer)[U 市]	
ウルズラ (Ursel)[祖母、ウルム出身]	152
マルガレート (Maragaret)[市長コンラート・ベッセラーの妻]	113
ベッツ、メルコール (Betz, Melchor)[R 商会の社員]	126
ヘーヒシュテッター (Höchstetter)[A 市商人]	
アムプロシウス (Ambrosius)	87、88
ジョルク (Jörg)	221
ジョルク2世 (Jörg der Jung)	222
ハンス (Hans)	222
ヨーゼフ (Joseph)	231
ヘーラー (Hörler)	
ウルズラ (Ursel)	125、 231
ベアベル (Bärbel)	232
ベルシュトラッセ、ペーター (Berstrass, Peter)[洗礼立会人]	101
ヘンリー8世 (Henry VIII)[イングランド国王 (在位1509 - 1547)]	108
ポイティンガー、コンスタンツィア (Peutinger, Constanzia)	230
ホクンダ、ジュリアン (Jocunda, Julian)[リスボンでの逗留先の主人]	146
ホッセラー (Hosseler)	222
(ヘル・) ボニファティウス、レーンハルト (Her Bonifacius, Lenhart)[聖アンナ教会の副牧師]	112
ホノルト (Honold)[A 市商人]	
アントーン (Anton)	215
ウルリヒ (Ulrich)[W 商会の社員]	156、 113、 115 - 116、
119 - 124、126 - 127、132、 111、113 - 114	
ハンス (Hans)	126
ホフマン、レーンハルト (Hofmann, Lenhart)[R 商会の社員]	129、
109	
(フォン・) ホーヘンエック、アンドレアス (von Hocheneck, Endris)[ホーヘンエック司教]	90

- ポール、ニクラス (Pole, Niclas) [教師] 107
- ホルツボック、ヤーコブ (Hotzbock, Jacob) [マデイラ島での砂糖キビ農場監督
官] 158、159
- ボルナー、バスチアン (Polner, Bastian) [ヴェネツィア在住の R 商会の正式社
員] 102、110
- (フォン・デア・) ボルヒト、マルガレート (von der Borch, Margrett) [アン
トウエルペン在住の内縁の妻] 101、104
- ボンガルトナー (Bongartner) [A 市商人]**
- アンナ (Anna) 230
- エレナ (Elena) 231
- ゼーボルト (Sebold) 220
- ハンス (Hans) [レーリンガー家と姻戚関係] 203、220
- ハンス 2 世 (Hans der Jung) 221
- モニカ (Monica) 229
- ランブレヒト (Lambrecht) [教師] 102
- (フォン・) ボンベルガ、アントーン (von Bomberga, Anton) [アントウエルペン
在住の R 商会の正式社員] 102、110

マ 行

- マイティング、ウルズラ (Meiting, Ursel) [バルトロメ・レームの未亡人]
96
- マイティング、ジョルク (Meiting, Jerg) [R 商会の共同出資者、アントウエル
ペン支店担当] 117、118、116、125、111
- マクシミリアン 1 世 (Maximilian I) [神聖ローマ皇帝 (在位 1493 - 1519)]
107、108、117
- マテウス (Mathaeus) [ラーフェンスブルク在住の医師] 104、121、122
- マヌエル 1 世 (Manuel I) [ポルトガル国王 (在位 1495 - 1521)] 146
- 149、101、112
- マルティン、ヴィルヘルム (Martin, Wilhelm) [W 商会の代理商] 151
- ミッシェル、マギスター (Michel, Magister) [助祭] 112
- メッサーシュミット、アンナ (Messerschmid, Anna) [洗礼立会人] 106、
109、111 - 112
- メルス、ヴァレンティン (Mörz, Valentin) [R 商会の正式社員] 109
- メルツ、ヴィルヘルム (Mörzt, Wilhelm) 232
- メンデス、ルイ (Mendes, Rui) [ポルトガル貴族] 147

ラ 行

- ライカフ、ウルズラ (Leikaf, Ursel) [ウルズラ・マイティングの娘] 96
- ラウギンガー (Lauginger) [A 市商人]**
- アントーン (Anton) [W 商会のミラノ支店長] 140、220

老オットー (Otto der Alter)	219	
ナルシス (Narzis)[W 商会のリヨン支店長]	141、142、	112
ハンス (Hans)[W 商会の社員]	139	
老ハンス (Hans der Alter)	203、220	
ラーフェンスブルガー、ラークス (Ravensburger, Laux)	97	
ラーフェンスブルガー、レオ (Ravensburger, Leo)[マデイラ島の W 商会の代理商]	159	
ランガウアー、バルトウス (Langauer, Baltus)	231	
ランゲンマンテル (Langenmantel)[A 市都市貴族]		
アイテルハウス (Eyttelhaus)	220、	87
アイテルハウス 2 世 (Eyttelhaus der Jung)	221	
ジークムント (Sigmund)	229	
ヨハン (Johan)	231	
リッシャー、ジャン (Rischer, Jan)[リヨン市出納長、造幣局長]	142	
リープナウアー、ジョルク (Liebnauer, Jerg)[R 商会の正式社員]	109	
ルイ 12 世 (Louis XII)[フランス国王 (在位 1498 - 1515)]	108	
ルードルフ (Rudolf)	90	
レーヴェンシュタイン、スキピオ (Lewenstein, Scipio)	145	
レスラー、マルグリータ (Rösler, Margrita)[弟ハンスの妻]	231	
レーム (Rem)[A 市商人、ヴェルザー家と親族関係]		
ヴィルヘルム (Wilhelm)[父方の親族、A 市商人、年代記作者、1462 - 1529]	203、220	
ヴォルフ (Wolff)[父方の親族]	202、219	
バルトロメ (Bartolome)[父方の親族]	109、202 - 203、221	
ハンス (Hans)[曾祖父、1340 - 1396]	150、92	
ルーカス 1 世 (Lucas I)[祖父、1392 - ?]	152、90	
その子供 [伯父、叔父]		
ギルク (Gilg)	152	
ハンス (Hans)	152	
マテウス (Matteus)	152	
マルクス (Marx)	152、153	
ルーカス 2 世 (Lucas II)[父親、1438 - 1496]	152、153、116	
その子供 [兄弟姉妹]		
アンドレアス (Endris)[長男・兄]	153、140、104、108、109、114、117、128、116、119、121、123 - 124、126、132 - 134、203、209 - 210、212、221、228、86 - 87、92 - 93、111、113、115	
その子供 [甥・姪]		
アフラ (Afra)[兄の長女]	209、232	

アンドレアス (Endris) [兄の長男]	209、212
スザンナ (Zusanna) [兄の次女]	209、232
カタリーナ (Kattarina) [次女・妹]	153
ギルグ (Gilg) [四男、弟キームゼー司教]	153、153、 228、231、87
その子供 [甥]	
ルーカス・ギルグ (Lucas Gilg) [弟ギルグの息子]	220、 87
ジョルク (Jorg) [五男・弟]	153
ハンス (Hans) [三男・弟]	153、101、105 - 106、117、 115、210、221、228、87、111
その子供 [甥]	
マテーウス・ハンス (Matheus Hans) [弟ハンスの次男]	87 - 88
ルーカス・ハンス (Lucas Hans) [弟ハンスの長男]	86 - 88、93、114、116
マグダレーナ (Madlena) [長女・妹]	153、129、111
ルーカス3世 (Lucas) [次男・本人、1481 - 1540]	
	153 - 154、138 ff.、101 ff.、111 ff.、202 ff.、 84ff.、110ff.
その子供 [息子・娘]	
アンナ (Anna) [私生児]	130、104 - 105
エリザベート (Elisabeth) [三女]	113
ベルクトルト (Berchtold) [次男]	110 - 111
ベルクトルト2世 (Berchtold der Jung) [四男]	112 - 113
マグダレーナ (Magdlena) [長女、1527 - 1575]	108 - 110、110、118
マリア (Maria) [次女]	112
ヤーコブ (Jacob) [私生児]	101
ヨゼフ・アブラマーティア (Josep Abaramathia) [三男]	111
ルーカス4世 (Lucas IV) [長男、1522 - 1581]	106 - 108

レーム (Rem)

アンナ (Anna) [A市商人の娘]	232
ヴォルフガング (Wolfgang) [グロースケッツ在住の医師]	109、 116
ジークムント (Sigmund) [R商会の正式社員]	109
ドロテア (Dorothea) [バルトロメーオの娘]	230

ベアベル (Bärbel)	231	
ラークス・ハンス (Laux Hans) [R 商会の正式社員]		107
レーリンガー (Relinger) [A 市都市貴族、エカイン家と親族関係]		
アンナ (Anna)	229	
ウルリヒ (Ulrich)	203、220、	87
クララ (Clara)	203	
コンラート (Conrat)	202、220	
サビーナ (Sabina)	231	
レオンハルト (Leonhart)	232	
ロット、コンラート (Rott, Conrat) [A 市商人]		231

事項索引

ア 行

アウクスブルク市

市参事会 (Stadtrat)	87 - 88	
市長 (Bürgermeister)	202、219、228、	87、113
都市裁判所 (Stadtgericht)	108	
インド貿易 (Indische Händel)	160 - 161、	112、113
円形闘技場 [コロッセオ] (Colosseo)	103	
大市 [メッセ] (Meße)		
ブラーバント地方	113	
フランクフルト・アム・マイン	128、	113、125、128
ベルヘン・オブ・ゾーム	106	
ミッデルブルフ	106	
メッヘレン	106	
ルーベン	106	

カ 行

嫁資 (Heiratgut)	115	
貨幣 (Geld)		
クルキアティ金貨 (Cruciati)	147、	112、129、130
グルデン金貨 (Goldgulden)	115、117	
グルデン銀貨 (Silbergulden)	151ff.	
クロイツァー貨幣 (Kreuzer)	90ff.	
シリング (バイエルン・シリング) 貨幣 (Bayerische Schilling)		
	95	
ドゥカーテン金貨 (Dukaten)	112、	219 - 220、222、116

バツェン銀貨 (Batzen)	97	
ハンガリー金貨 (Ungerische Dukaten)		206
フランドル貨 (vls.=Flamische Pfund)	108、	116
フローリン金貨 (Florin)	97	
ペーニヒ貨 (Pfennig)	92ff.	
ベーメン貨 (Böhmishe Gulden)	97	
マルク銀貨 (Marksilber)	144、	230
リヨン貨 (Lionemüntz)	142	
観光旅行 (Touren)	142 - 143、146、	153 - 156
宮殿 [王宮] (Königshof)		
教皇の白亜宮殿 (Weißer Palast des Papst)		154
サン・エレン (St. Erren)	101	
シントラ (Sintra)	157	
スペイン国王 (Spagnaking)	145、	102
ブラーバント (von Brabant)	116	
ブリュッセル (zu Brissel)	118	
教育 (Erziehung)		
学生 [住み込みの学生] (Eehalten)	141	
教師 (Magister/Praeceptor)	102、106 - 107、	118
算術 (Rechnen)	139	
算術学校 (Rechnensschule)	107	
法律と簿記 (Recht u. Buchhalten)	102	
簿記 [学校] (Buchhaltungsschule)	140、	118
見習い料金 (Lerngeld)	103	
読み書き (Lesen u. Schreiben)	104、109 - 110	
ラテン語学習 (Lateinische Schule)	107	
薬 (Arznei)		
丸薬 (Pille)	130	
散し薬 (Puever)	120	
煎じ薬 (Tränklein)	120	
軟膏 (Salben)	120、130	
練り薬 (Latwerge)	120	
グロース・パルティエダ [巨額負債] (Gross Partida)		118
結婚衣装 (Hochzeitskleider)	203ff.	
[A] 新郎用 (Bräutigam)		
ガウン (Robe)	204	
婚礼用礼服用の上着 (Hochzeitsrock)		204
ジャケット (Wams)	204	
ズボン (Hose)	205	
肌着 (Hemd)	207	

披露宴用の上着 (Nachhochzeitskleid)	205
舞踏会の衣装 (Hochzeitsmahlsrock)	204
帽子 (Barett)	204
モーニング (Cutaway)	207
礼帯 (Schärpe)	232
[B] 新婦用 (Braut)	
ウエディングドレス (Geschwanzter Hochzeitsrock)	207
金のネックレス (Goldene Kette)	206、215、217
シャウベ (Schaube)	208、215
肌着 (Hemd)	207、216
披露宴用ドレス (Nachhochzeitsrock)	207、215
婦人用帽子 (Haube)	208
ペチコート (Unterrock)	215
ベルト (Gürtelen)	207、215
指輪 (Ring)	217、228、231
サファイヤ (Saphir)	206、215
ダイヤモンド (Diamant)	206、215
ルビー (Rubin)	206、215
結婚式 (Hochzeit)	
アンドレアス [兄]	104
ハンス [弟]	124
ルーカス 3 世	116、123 - 125、203
鉱山 [採掘場] (Bergwerk)	98
護衛 (Geleit)	107、128、131
コムネーロスの反乱 (Gross uffglaf = Comunidades)	112
婚姻証書 (Heiratsbrief)	217
婚約 (Verlobung)	202
サ 行	
私生児 (Uneheliche Kinder)	130、101 - 103、104 - 105
社員 [レーム商会] (Diener)	106 - 110
終身年金 [ライブゲディング] (Leibgedinge)	84、86 - 87、93、98
終身年金証書 (Leibgedingebrief)	86
祝宴 [披露宴] (Mahlzeit/Casterein)	203、213
雄鶏 (Kapaun)	214
ケーキ (Kuchen)	214
香料 (Spezerei)	213
魚料理 (Fisch)	213
塩 (Salz)	214
テーブル (Tisch)	213

肉 (Fleisch)	214		
パン (Brot)	214		
薪とローソク (Holz u. Kerze)	214		
ラード (Schmalz)	214		
ワイン (Wein)	213		
巡礼地 (Wallfahrtsorte)			
ヴェンヌ (Vienne)	103		
サンタ・マリア・デ・グアダルーペ (St. Maria de Guadalupe)	102		
モンセラート (Monserat)	103		
商事会社 (Handelsgesellschaften)			
ヴェルザー商会 (die Welser)	111		
アウクスブルク本店 (Augsburg)	142、	109、	112
アントウェルペン支店 (Antwerpen)	113		
ヴェネツィア支店 (Venedig)	139		
ブリュッセル支店 (Brüssel)	106、	110	
ミラノ支店 (Milano)	140		
リスボン支店 (Lisbon)	146、	149、	101
リヨン支店 (Lyon)	141 -	142、	112
ハンス・フェーリン商会 (die Hans=Vöhlin)	153		
フッガー商会 (die Fugger)	130、	135、	112
ルーカス・レーム商会 (die Lucas Rem)	117ff.		
商事会社の経営 (Betrieb der Handelsgesellschaft)			
飲食費 (Berossung)	117、	119、	128 - 130
馬の糧秣代 (Unterhaltgeld des Ros)	120、	122 -	123、
	131、	133 -	134、
	136		
貸付金 (Darlehen)	128、	111ff.	
貴金属の取引 (Handel mit Edelstein)	118		
給料 (Belohnung/Dienstgeld)	142、	213	
共同出資者 (Partidor)	113、	118、	121
原資 (Hauptgut)	118、	120、	123、
	131 -	135	
口座 (Conto)	122		
光熱費 (Holtz u. Kerzen)	123、	128 -	131、
	133 -	134、	136
雇用契約 (Vertrag der Gesellschaft)	106 -	110	
砂糖キビ農場 (Zücker Hof)	158、	113	
収益率 (Nutzungsrate)	112 -	114、	117
宿泊代 (Gastung)	120、	133、	136
商旅費用 (Reisecost/-geld)	120		
税率 [動産] (Steuersatz)	115 -	116	
接待費 (Gastung)	129		

餞別 (Abschiedsgeschenk)	127 - 128
総決算 (Generalrechnung)	117、119、121、126 - 127、135、 113
損益金 (Gewinn u. Verlust)	117、119 - 120、127、129、131、133、 115
退職金 (Abschiedszuschuss)	113 - 114、123、127
通行税 (Zollen)	145
配当金 (Dividende)	117、121 - 123、127 - 128、130 - 131、 85
被服費 (Kleidergeld)	142、117、119
負債 (Schuld)	124 - 127
フレッテ・エト・ディエット (Frette et Dietto)	148
分割払い込み金 (Rata)	113
報酬 (Lohn)	115
簿記 (Buchhaltung)	118
保険会社 (Versicherungsgesellschaft)	114
保険金 (Versicherungsgeld)	114 - 116
遊興費 (Lustbarkeitsgeld)	114
利子付き預金 (Zinsbuch)	132、135 - 136
両替手形 (Wechsel)	126
ローヌ河の難破 (Schiffbruch im Rhone)	144
商品 (Handelsware)	
無花果の実 (Feige)	150
オウム [外国産] (Papagei)	114
オリーブ油 (Olivenöl)	149、112
毛織物 (Wollstoff)	
イングランド産	108、113
フランドレン産	149、112
香辛料 (Gewürz)	148、112、112
砂糖 (Zucker)	160、113
サフラン (Safran)	143、145、146、112
辰砂 (Zinnober)	149、112
水銀 (Quecksilber)	128
精錬銀 (Frischsilber)	149、112
象牙 (Elfenzahn)	149、112
銅 (Kupfer)	149、112
鉛 (Blei)	149、112
猫 [外国産] (Katze)	114
宝石 (Edelstein)	114
綿花 (Baumwolle)	152、149、112

羊毛 (Wolle)	146、	112
ワイン (Wein)	149、	112
職業・身分 (Beruf/Stand)		
医師 (Arzt)	104、109、116、120 -	122、130
隠修士 (Einsiedler)	103	
運送業者 (Träger)	139	
追いはぎ (Straßenräuber)	131	
親方衆 (Meister)	158	
海賊 [モンドラゴン] (Seeräuber)	151	
家具師 (Tischler)	103	
家事奉公人 (Hausgesinde)	104	
下人 [下男・下女] (Ehehalten)	148、	212、214
航海士 [上級水夫] (Hochmatrose)	151	
護衛の従者 [騎士・徒士] (Ritter/Knecht)	131	
鼓手 (Trommelschläger)	213	
子守女 (Kindsmaid)	127	
酒蔵番 (Keller)	213	
指物師 (Schreiner)	103	
三助 (Badeknecht)	131	
仕入れ係 (Einkäufer)	148	
修道士 (Klosterbruder)	146	
手工業者 (Handwerker)	102	
守備隊長 (Capitan)	159	
狩猟親方 (Jägermeister)	212	
商人 (Kaufmann)	151ff.	
職人衆 (Handwerker/Diener)	158	
船主 (Schiffsherr)	151	
船長 (Schiffsführer)	151	
造幣局長 (Müntzmeister)	142	
代官 (Vogt)	97、106	
調停裁判官 (Dadingsherr)	88	
調理人 (Koch)	213	
辻強盗 (straßenräuber)	131	
笛手 (Pfeifer)	213	
農民 [借地農] (Bauer)	89、90、91、94、96	
花嫁介添え人 (Brautfieren)	212	
刃物師 (Messerschmied)	213	
ハンガリー王妃 (Königin von Ungern)	108	
ブドウ畑監督官 (Bergmeister)	213	
平民 [民衆] (Gemeinen)	112	

牧師 [説教師] (Predicant)	102、107、109、110、112
捕鳥者 (Vogeler)	96
水先案内人 (Pilot)	152
漁師 (Fischer)	95
郵便局長 (Postmeister)	104
郵便配達人 (Postbote)	139
薬剤師 (Apotheke)	121
槍持ち (Speerträger)	212
養育係り (Amme)	98
所領経営 (Hofsbetrieb)	
囿場 (vogelherd)	96
家畜小屋 (Stall)	96
関税収入 (Zoll)	87、89
小屋地 (Sölden)	87 - 89、115 - 116
菜園 (Garten)	87 - 88、97、115 - 116
採草地 (Wiese)	94 - 95
採草地税 (Wiesenzins)	91、94
材木 (Holzen)	96
借地 [レーン] (Lehn)	86、88、92
借地証書作成代金 (Schreibgeld)	90 - 92、94
十分の一税 (Zehnt)	88、95、115 - 116
税率 [不動産] (Steuersatz)	115 - 117
地代 (Zins/Gült)	88、90、96
燕麦 (Hafer)	90 - 91、94 - 95
大麦 (Gestern)	92、94
家禽の油脂 (Vogelöl)	90 - 91
ガチョウ (Gans)	91 - 92、95
小麦 (Korn)	90 - 92、94
卵 (Eier)	90 - 92、95 - 96
チーズ (Käse)	92、95
鶏 (Huhn)	90 - 92、95
雌鳥 (Henne)	91
ライ麦 (Roggen)	90 - 91、94 - 95
鳥網 (Vogelnetz)	96
鳥小屋 (Vogelhaus)	96
納屋 (Hütten)	96
農場 (Hof)	87 - 91、94
売買証文 (Kaufbrief)	96
針金 (Draht)	96
屋敷地 (Hofstat)	96

領主の柁 (Herren Mas)	90 - 92、94 - 95
漁場 (Fischerei)	89
修道院 (Kloster)	
サン・モリッツ (St. Moritz)	220、 112
聖アンナ [在：アウクスブルク] (St. Anna)	111、 112
聖ウルリヒ [在：ディリンゲン] (St. Ulrich)	129、 144、 212、 223
聖カタリーナ (St. Katarina)	151、 223
聖サン・トメール (St. Omer)	108
聖十字架 (Hl. Kreutz)	219、 106
聖母マリア [在：モンセラット] (St. Maria)	103
聖レーオナルト [礼拝堂] (St. Leonhards Capelle)	153
聖レーンハルト (St. Lenhard)	96
聖遺物 (Reliquie)	
聖アンナの頭蓋骨とその他の遺骨 (St. Anna Haupt u. andere Gebein)	155
聖ヨハネの遺体 (St. Johannes Tauffers Haupt)	156
聖ラザロの頭蓋骨 (St. Lasarus Haupt)	155
バチカン (Vatican)	154
マグダラのマリアの頭髪と布地 (St. Maria Magdalena Haupthaar u. Schnitt)	155
誓約租税 (Geschwore Steuer)	111ff.
説教部屋 (Predigthaus)	112
戦争 (Krieg)	
イングランド軍 (Englisches Heer)	107
ヴェネツィア軍 (Venediges Heer)	154
ギヌガットの戦い (Guinegate)	108
神聖ローマ皇帝軍 (Kaiserishes Heer)	107 - 108
要塞と塔 (Bollwerk u. Turm)	108
船舶 (Schiff)	
海賊船 (Seeräuber)	150 - 151
軍艦 (Kriegsschiff)	
カラベル船 [カスティールヤ国籍] (Caravel)	158
ガレオン船 [フランス国籍] (Galeone)	154
ガレー [櫂] 船 (Runderschiff)	159
ビスケー船 (Biskaischesschiff)	157
フランス軍船 (Französisches Kriegsschiff)	151
ポルトガル軍船 [東インド向け] (Armad per Indiam)	148、 161
航路標識 (Seemarken)	152

小型船 (Barel/Barinel)	151、155	
船舶賃貸契約 (Vertrag der Armazionschiff)		146
船舶名 (Schiffsname)		
セント・アントーニオ号 (die St. Antonio)		147
セント・ヴィチェント号 (die St. Vizent)		147
セント・ジェロニモ号 (die St. Jeronimo)		147
セント・ボナヴェントウーラ号 (die St. Bonaventura)		154
セント・ポール号 (die St. Paul)	151	
セント・マリア・デルース号 (die St. Maria Deluz)		147
セント・ラファエロ号 (die St. Raffael)		147
リオナルダ号 (die Lionarda)	147	
暴風雨 (Sturm)	151、160	
洗礼立会人 (Gevatter)	101、104、106、109、111 - 113	
相続財産 (Erbe)		
亜麻製衣服 (Leingewand)	98	
衣服 (Kleid)	218	
家具 (Hausrat)	219	
掛け布団 (Deckbett)	99	
髪飾り (Kopfputz)	218	
金製ゴブレット (Golden Pokal)	218	
銀塊 (Klumpensilber)	98	
銀製グラス (Silber Becher)	218	
銀製深皿 (Silber Schale)	218	
銀製容器 (Silber Geschirr)	98 - 99	
小物 (Kleinding)	99	
財布 (Säckel)	218	
座布団 (Pfühl)	99	
敷布 (Bettgewand)	219、99	
錫製容器 (Zinn Geschirr)	219	
机 (Tisch)	219	
鍍金コップ (Vergolden Becher)	99	
ネックレス (Kette)	217、218	
古着 (Altes Kleid)	98	
ベルト (Gürtel)	218	
枕 (Kissen)	99	
遺言状 (Testament)	133 - 134、98	
指輪 (Ring)	217、218	
揺りかご (Weige)	99	
嫁入り支度金 (Aussteuer)	216 - 217	
ロザリオ (Paternoster)	218	

贈与 (Schenken)	115	
絵画、線画 (Malerei/Zeichen)	114、	223
花冠 (Kränz)	213	
甲冑 (Schnellier)	213	
ガーゲルト (Gabgeld)	213	
銀製食器棚 (Kredenz)	221	
銀製の高脚杯 (Köpflin)	232	
銀製の鈴 (Scheirlin)	221、	223
銀製の茶碗 (Becher)	222	
銀製の口ザリオ (Paternoster)	222、	223
銀製水差し (Wasserkanne)	209、	221、 84
靴 (Schuh)	211 -	212
サージ [アラス産] (Rasch)	222	
サファイアの指輪 (Safir Ring)	221	
塩壺 (Salzfaß)	232	
鹿 (Hirsch/Wild/Reh)	214、	215
祝儀 (Hochzeitgeschenk)	115、	214 - 215、 219 - 223、 228ff.
茶碗 (Becherlin)	219	
壺 [真珠で装飾] (Hafen)	221	
テンの毛皮 [上着] (Pelzrock von Marder)	228	
ドゥカーテン金貨 (Dukaten)	219 -	220、 222
マルク銀貨 (Silber Mark)	230	
指輪 (Ringel)	212、	219、 222、 223、 231

タ 行

退職 (Abschied)	113 -	114、 123、 127
帳簿 (Buch)		
会計簿 (Rechnungsbuch)	140、	143、 106
黒色地代帳 (Schwartzzinsbuch)	98	
雇用契約簿 (Dienstvertragsbuch)	116	
債務帳簿 (Schuldbuch)	114、	128 - 129、 133 - 134、 136、 85 - 86
商業帳簿 (Handelsbuch)	141、	106
仕訳帳 (Jornal)	140	
秘密帳簿 (Geheimbuch)	120、	124、 133
帝国議会 (Reichstag)	118、	123、 111
ドイツ人商館 [フォンダコ・デイ・テデスキ] (Fondaco dei Tedeschi)	110、	118

ナ 行

布地 (Tuch)

赤色ピロード (Rot Samet)	208
亜麻布 (Leintuch)	219
エレ (Elle)	204 - 205、207 - 211
金糸布地 (Goldfäden)	207
仕立て代金 (Macherlohn)	204 - 205、207、211
シュターメット (Stamet)	205、209 - 211
タフタ [琥珀織] (Taft)	205、208
ダマスク織 (Damast)	205、207、209 - 211
反物 (Stück)	230
二重ラクダ織 (Kamelott)	208
バルヘント織 (Barchent)	151、205、207、211 - 212
ピロード (Samt)	204 - 205、208 - 211
ベルン産 (Bern)	209
レイデン産 (Leiden)	204 - 205、208、211

八 行

馬上槍試合 (Turniere)	212
旅籠 (Gasthaus)	131
病気 (Krankheit)	
萎黄病 (Bleichsucht)	104
疫病 (Plag)	127
嘔吐 (Erbrechen)	122、126、128
潰瘍 (Geschwür)	109
骨折 (Knochenbruch)	130
小児急癇 (Vergicht)	110
身体麻痺 (Lähmung)	104、111、120、130、132
頭痛 (Hauptweh)	128、110
疝痛 (Grimmen)	110
粟粒疹 (Englische Schweiss)	126
卒中 (Schlag)	130
ただれ目 (Triefendes Auge)	106
脱腸 (Bruch)	106
痛風 (Podagra)	126、130
天然痘 (Blatter)	106、109
毒素 (Pirole)	127
吐血 (Blutbrechen)	121
麦角中毒症 (Antonsfeuer)	144
発疹 (Ausschlag)	111、112
腹痛 (Leibweh)	119、126

ペスト (Pest)	148、 121、 127、 104、 107
麻疹 (Masern)	106、 110
三日熱 (Fieber Terzana)	145、 106、 109
耳鳴り (Ohrensausen)	128
四日熱 (Fieber Quartana)	106
不正取引 [ヴェルザー商会] (Schändlicher Handel)	111 - 113
粉飾決算 (Geschminkter Bericht)	114

マ 行

祭り (Fest)

聖ヴィンチェント祭 (St. Vincent)	146
聖セバスティアン祭 (St. Sebastian)	146
聖マルチン祭 (St. Martin)	95
聖ミカエル祭 (St. Michael)	85
復活祭 (Osterfest)	85

ヤ 行

遺言状 (Testament)	133 - 134、 98
遺言状執行人 (Testamentarii)	134

ラ 行

療養 (Heilbehandlung)

アルコール (Tropfen/Wein)	109
胃の洗浄 (Purgier)	104、 119、 121、 127
浣腸 (Klistier)	104、 122、 128
薬 (Provisiones)	130
瀉血 (Aderlaß)	104、 128
錠剤 [丸薬] (Pille)	130
脱腸帯 (Bruchband)	106
転地療養 (Kur durch Luftwechsel)	144
湯治 (Badekur)	104、 120 - 121、 129、 130、 132 - 133、 104、 105
湯治場 (Badeort/Kurort)	104、 122 - 124、 127、 131
湯治旅行 (Badereise)	105、 122、 123 - 124、 127 - 128、 131 - 133
投薬 (Arznei)	104
風呂 (Bad)	
混浴 (Gemeines Bad)	122
殿方用大浴場 (Herren Bad)	112、 124
蒸し風呂 (Schwitzbad)	122、 124、 126 - 127、 130

養生計画 (Regimen)	105
リヨン大街道 (Gorsse Lyoner Straße)	103
レーム家の墓地 (Begrabnisplatz der Rem)	111
ロード [定期運送馬車] (Rod)	102

地名 (国別) 索引

索引には、その地名が所属する国名の略号 (ドイツはD、低地地方はN、イタリアはI、フランスはF、ポルトガルはP、スペインはS、スイスはSw) を付記した。A市はアウクスブルグ市。

ア 行

アヴィニオン (F: Avignon)	142、155
アウクスブルク (D: Augsburg)	151、153、143、152 - 153、103 - 110、116 - 118、122 - 128、114、119、127、132、134、202、232、87、101、106 - 110、107 - 109、111ff.
アキレイア (I: Aguileia)	129
アサット (F: Assat)	155
アソレス諸島 (S: Azores Is.)	149、160
アーヘン (D: Aachen)	108、125
アラス (F: Arras)	222
アルヴァラーデ (P: Alvalada) [リスボン市内]	160
アルヴィジョア地方 (F: Albigeois)	145
アルガーニエ地方 (Arganie)	150
アルデンヌ (N: Ardennes) 高原	117
アルマーダ (P: Almada) [リスボン市内]	148
アルネムイデン (N: Arnemuiden)	152
アルル (F: Arles)	155
アルロン (F: Arlon)	107
アンダルシア地方 (S: Andalucia)	150
アントウェルペン (N: Antwerpen)	106 - 108、110、112 - 113、117 - 121、123、125 - 128、111 - 113、120、123、230、101、103、107、109 - 110、114、116、118
イエティンゲン (D: Jetingen)	133
イヤール (D: Iyal im Intal)	98
イングランド (England)	149、151
インド (India)	146 - 148、161、112 - 113、122
ヴァイセンホルン (D: Weißenhorn)	129

ヴァイル (D: Weil)	124、127、131、133
ヴァッサーブルク (D: Wasserburg)	126
ヴィチエンツァ (I: Vicenza)	140
ヴィルフランシュ [・シュル・メール] (F: Villefranche)	155
ヴェネツィア (I: Venezia)	151、139ff.、114、102、108、107、110、116、118
ヴェリンゲン (D: Weringen)[A市の近郊(南部)]	89、91
ヴェルタッハ (D: Wertach)[ケンプテン市の南部]	96
ヴェルチェルリ (I: Vercelli)	141
ヴォルムス (D: Worms)	118、121、125
ウルム (D: Ulm)	152 - 153、152、108 - 111、117 - 118、121 - 125、130、133、117、121、131 - 132、229、102、104、106、113、107 - 108、114
エスリンゲン (D: Eßlingen)	107、117、123 - 127、131 - 133
エプファハ (D: Epfach)[A市の近郊(南部)]	89
エール (N: Aire)	108
エルバス (P: Elvas)	101
オットマルスハウゼン (D: Ottmarshausen)[A市の近郊(南部)]	89、90
オルレアン (F: Orleans)	156

カ行

ゲイスリンゲン (D: Geislingen)	124、127、131 - 132
カウフボウレン (D: Kaufbeuren)	215
カシリャス (P: Cacilhas)	148
カスカイス (P: Cascais)[リスボン市の外港]	150
カスティージャ地方 (S: Castilla)	112
カナリア諸島 (S: Canarias Is.)	
ラ・パルマ島 (La Palma Is.)	156、158 - 159、113
ガリーシア地方 (S: Galicia)	157
カルヴァラーダ (P: Calvalada)[リスボン市内]	148
カルプ (D: Kalb)	122、124、127、131、133
カレー (F: Calais)	108
カンヌ (F: Cannes)	155
キッシンゲン (D: Kissingen)[A市の近郊(南部)]	86、88 - 89、92、94 - 95
ギュンツブルク (D: Guntzburg)	123、127、129、132
グラス (F: Grasse)	155
クルムバード (D: Krumbad)	104
ゲッピンゲン (D: Göppingen)	117

ケルン (D: Köln) 152、 107 - 110、 118 - 126、 101、 104
コンスタンツ (D: Konstanz) 103、 105

サ 行

サヴォア (F: Savoie) 144
サヴォーナ (I: Savona) 154
サラゴサ (S: Zaragoza) 145 - 146、 102、 105、 112
サラマンカ (S: Salamanca) 146
サルス (F: Salses) 103
ザルツブルク (D: Salzburg) 126
サン・アントーニオ (F: Sct. Antonio de Vienes) 144
サン・エレン (P: Sct. Erren)[王宮] 101
サン・クロード (F: St. Claude) 103
サン・トメール (N: St. Omer) 108
サン・ニコラス・ポルト (F: St. Nicolas d. Port) 107、 117
サン・バウム (F: Sct. Baume) 155
サン・マリア・サラモン (F: St. Maria Salamone) 155
ザンクト・リーンハルト (D: St. Lienhart) 116
サンタ・カタリーナ (P: St. Catarina)[リスボン市内] 160
サンタ・マリア・デ・グアダルーペ (S: St. Maria de Guadalupe) 102
サンタ・マリア・デルース (P: Sta. Maria Deluz)[リスボン市内] 148
サンタ・マルタ (S: St. Marta) 157
サンティアゴ・デ・コンポステラ (S: Santiago de Compostela) 151、 157
サント・マキシム (F: St. Maximin) 155
ジェノヴァ (I: Genova) 154、 114
シェルメック (F: Schirmeck) 107
ジャコビ (jacob)[場所不明] 155
ジュネーブ (Sw: Geneve) 143 - 145、 103、 106
シュパイヤー (D: Speyer) 152、 118、 121、 123、 125
シントラ (P: Sintra)[王宮] 157
ストラスブール (F: Strasbourg) 107、 111、 117
スペイン (S: Hispania) 121、 126、 129 - 130、 132、 135、 112 - 115
スヘルデ川 (N: der Schelde) 142
セイセール (F: Seyssel) 144
セゴビア (S: Segivia) 113
ゼーラント地方 (N: Seeland) 152、 157
ソリア (S: Solia) 146

タ 行

タラスコン (F: Tarascon) 155

ダンケルク (F: Dunkerque)	108	
ダンジネス岬 (E: Cope Dungeness)	151	
チビタベッキア (I: Civitavecchia)	154	
チューリヒ (Sw: Zürich)	145	
ディートフォルト (D: Dietfort)	122	
ディリンゲン (D: Dillingen a.d. Donau)	153、	109、118、122、125、 128、212
デュレン (D: Düren)	125	
テルーアンヌ (F: Therouanne)	108	
東方 (バルト海沿岸) 地域 (D: Ostlande)	149	
トゥール (F: Tours)	142	
ドナウヴェルト (D: Donauwörth)	116、	124
トリアー (D: Trier)	111	
トリノ (I: Torino)	141	
トレヴィーゾ (I: Treviso)	153、	102
トレド (S: Toledo)	145	
トレント (I: Trento)	153	
トロサ (S: Tolosa)	145	

ナ 行

ナバーラ (S: Navara)	145	
ナムュール (N: Namur)	107、	111、117
ナルボンヌ (F: Narbonne)	103	
ナンシー (F: Nancy)	107	
ニーウポールト (N: Nieuwpoort)	108	
ニース (F: Nice)	155	
ニーム (F: Nimes)	103	
ニュルンベルク (D: Nürnberg)	116、122 - 123、126、	121、217、 229、107、107、109、114、116、118
ネーデルラント [低地地方] (N: Nederlanden)	149、	118
ネルトリンゲン (D: Nördlingen)	124、	129

ハ 行

バイセンブルク (D: Weisenburg)	116、	124
バストーニュ (N: Bastogne)	107、	117
バダホス (S: Badajoz)	101	
バチカン (I: Vatican)	154	
バツ島 (F: Batz Is.)	151	
バーデン (Sw: Daden) [チューリヒの北西部]	105	
パドヴァ (I: Padova)	140、153、	108、118

バートライヘンハル (D: Bad Reichenhall)	126
バーバリー [マグレブ] 地方 (Barbary)	149
ハライン (D: Hallein)	126
バランシエンヌ (N: Valenciennes)	156
パリ (F: Paris)	142、 106
バルセロナ (S: Barcelona)	103
バレンシア (S: Valencia)	146
ビヴェイロ (S: Viveiro)	157
ビエンヌ (F: Vienne)	144、 103
ビーベル (D: Biber)	89
ファイヒンゲン (D: Vaihingen)	117
フィレンツェ (I: Firenze)	114
フェルトキルヘン (D: Feldkirchen)	105
フェロル (S: Ferrol)	157
ポルツハイム (D: Pforzheim)	107、 117
ブラウナウ (D: Braunau am Inn)	109
フラータ (S: Fraga)	102
ブラーバント地方 (N: Brabant)	106、 113、 116
フランクフルト・アム・マイン (D: Frankfurt am Main)	107、 118、 123、 128 - 129、 132、 113、 115、 125、 128、 101、 104、 114
フランス (F: French)	114、 118
フランデレン [フランドル] (N: Flandern)	157
フリッシンヘン (N: Vlissingen)	157
フリブール (Sw: Fribourg)	143 - 145、 103、 105
ブルージュ (F: Bourges)	142、 156
ブルターニュ (F: Bretagne)	149、 151
ブルッヘ [ブリュージュ] (N: Brügge)	157、 106 - 108、 118
ブリュッセル (N: Brussel)	156、 106、 110 - 111、 117 - 118、 104
フルラッハ (D: Hurlach) [A 市の近郊 (南部)]	89、 91
ブロワ (F: Blois)	142
フンスリュック山地 (D: Hunsrück)	125
ベルデ岬諸島 (P: Cabo Verde Is.)	149
ペルピニャン (F: Perpignan)	103
ベルヘン・オブ・ゾーム (N: Bergen op Zoom)	152、 157、 106 - 107、 117 - 119、 123、 113
ベルン (Sw: Bern)	143 - 145、 103、 105
ボニュー (F: Bonnieux)	144
ボルツァーノ (I: Bolzano)	153
ポルト (P: Porto)	150
ポルトガル (Portuguese)	149、 114、 132、 114、 116

マ 行

マインツ (D: Mainz)	108、 110
マーストリヒト (N: Maastricht)	108
マダガスカル島 (Madagascar Is.)	148
マデイラ諸島 (P: Madeira Is.)	149、 156、 158、 160、 113
カーポ・サンクト (Capo Sancto)	158
フンシャル (Funchal)	159
ポルト・サント島 (Port Santo Is.)	158
マチコ (Machico)	159
マドリード (S: Madrid)	102
マルセイユ (F: Marseille)	155
ミッデルブルフ (N: Middelburg)	152、 157、 106 - 107
ミュンヘン (D: München)	124 - 126
ミラノ (I: Milano)	140
ムーラン (F: Moulins)	142、 156、 106
メジナセリ (S: Medinaceli)	102
メス (F: Metz)	152、 107、 117 - 119、 123、 125、 102
メヘレン (N: Mechelen)	106 - 107、 204、 104
メディナ・デル・カンポ (S: Medina del Campo)	146
メミンゲン (D: Memmingen)	103、 105、 109
メルゲンタウ城 (D: Mergentaw schloß)	95
モンスニ峠 (F: Pass de Monte Cenis)	141
モンセラート (S: Montserrat)	103
モンデーゴ岬 (P: Cabo Mondego)	150
モンテルダーン (I: Monterdon)	153
モンハイム (D: Monheim)	116
モンフォルテ (P: Monforte) [エルバスの北西]	146
モンペリエー (F: Montpellier)	103

ラ 行

ライプハイム (D: Leipheim)	153、 139
ライン河 (D: der Rhein)	125
ラインバハ (D: Rheinbach)	125
ラグナ (D: Lagna)	89
ラ・コルーニャ (S: La Coruna)	150 - 151
ラーシュタット (D: Rastadt)	107
ラストラ (Rastel)	150、 157
ラーフェンスブルク (D: Ravensburg)	104 - 105、 121

ラングドック (F: Languedoc)	103、	143
ランツフト (D: Landshut)	108	
リスボン (P: Lisbon/Lisboa)	146 - 148、150、156 - 158、	101、
	113、112、114、121 - 122、	107
リートハイム (D: Riethaim)	153、	139、109
リヨン (F: Lyon)	141 - 145、156、	103 - 104、106、111 - 112
リンダウ (D: Lindau)	105、	125
ルーアン (F: Rouen)	142	
ルーヴェン (N: Leuven)	106 - 107	
ルミアール (P: Lumiar) [リスボン市内]	148	
レイデン (ライデン) (N: Leyden)	204 - 205、	208
レッヒ河 (D: der Lech)	90 - 91、	95
レマーゲン (D: Remagen)	125	
レリダ (S: Lerida) [カタルーニャ地方都市]	103	
レンス (D: Rhens)	125	
ロイトリンゲン (D: Reutlingen)	117	
ロスコフ (F: Raschon)	151	
ローゼナウ (D: Rosenau)	96	
ロート (D: Roth)	116	
ローヌ河 (F: Rhone)	144	
ローマ (I: Roma)	154、	114
ロレート (I: Loreto) [イタリア中部マルケ州]	154	
ロンセヴァール山脈 (S: Roncesvalles)	145	
ロンセスヴァーリエス峠 (S: Pass de Roncevalles) [イバニユタ峠]	145	